

令和3年度

団体名	ユースボランティアはためく	U-campus実行委員会	棚田復活プロジェクト
所在地	矢板市	宇都宮市	茂木町
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:70,296円) 【構成員】 代表:古河原花菜</p> <p>【事業名】 ジェンダーについてもう一度考えるイベント「Re Think」</p> <p>【事業目的・実績】 ○学生を含む地域住民に対して、男女平等や「女性らしさ・男性らしさ」、LGBTQ+など、ジェンダーに関する諸問題を自分事として考えるための情報展示やディスカッション、講演等を行い、ジェンダーの在り方を再考する機会を設ける。</p> <p>・6月25日(金)～27日(日)第1回 Re Think ～多様な性のあり方とわたしたち～ ・10月15日(金)～17日:第2回 Re Think ～ジェンダーからみる「らしさ」～ ・12月5日(日):第3回 Re Think ～知ることからはじまる。あなたと「多様な性」のおはなし。(講演会・ディスカッション) ※会場はすべて、矢板にぎわい館</p> <p>【事業の効果】 ・第1回参加者:3日間で81名 ・第2回参加者:3日間で22名 ・第3回参加者:現地12名、オンライン14名 ・各イベントを通して、ジェンダーに関する諸問題を自分事として捉える機会を提供できた。また、大学准教授による講演会を企画し、専門的知識を得る場を設定し、参加者と問題意識を共有することができた。</p>	<p>(短期/事業規模:73,135円) 【構成員】 代表:大塚彩菜</p> <p>【事業名】 U-campus</p> <p>【事業目的・実績】 ○県内の高校に在籍している又は県内在住の高校生が、自分への理解を深めたり、多様な選択肢を模索したりするワークショップを通して、進路選択に対する視野を広げ、自分の将来設計について考えるイベントを開催する。</p> <p>・8月21日(土)・22日(日):第1回U-campus (cafe ink blue)</p> <p>【事業の効果】 ・参加者:2日間で14名 ・進路選択に関するワークショップを通して、自分についてより深く知ったり、学年段階に応じて進路選択の幅を広げることができた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:118,912円) 【構成員】 代表:渡邊幸樹</p> <p>【事業名】 茂木町耕作放棄地棚田復活プロジェクト</p> <p>【事業目的・実績】 ○茂木町で耕作放棄地となっている棚田を復活させることを通して、農村文化を守り、活動にかかわる大学生と地域住民の交流を促進する。</p> <p>・5月:田植え ・7月11日(日):草取り ・7月17日(土):ホテル観察会 ・8月7日(土)・28日(土):草取り・防護ネット設置 ・9月25日(土):稲刈り・おだかけ ・10月10日(日):脱穀 ・11月14日(日):収穫祭 ・12月26日(日):もちつき参加</p> <p>※会場はすべて、茂木町早坂の家、早坂の棚田</p> <p>【事業の効果】 ・中山間地域の棚田の景観維持や周辺の環境保全に大きく寄与するとともに、地域住民との積極的な交流を図り、里山の魅力発信と地域課題の解決に取り組むことができた。</p>

団体名	4大学連携ゼミアントレプレナー研究会	佐野市の子どもを応援する学生の会	未来の学校
所在地	宇都宮市	佐野市	那須塩原市
事業の概要	<p>(中・長期/事業規模:72,740円) 【構成員】 代表:山内祥輝</p> <p>【事業名】 とちぎ学生・若者チャレンジ応援プロジェクト</p> <p>【事業目的・実績】 ○宇都宮市内の4私立大学(作新学院大学・文星芸術大学・宇都宮共和大学・帝京大学)と行政、企業、NPO、クリエイター等が連携し、創造都市宇都宮圏の形成に向けたアイデアを出し合い、それを具現化するための交流の場を設ける。</p> <p>・11月26日(金) 第1回 講師:光琳寺住職 井上広法氏 ・12月10日(金) 第2回 講師:とちぎユースサポーターズネットワーク 代表理事 岩井俊宗 氏 ・12月21日(火) 第3回 講師:光琳寺住職 井上広法氏 ・1月14日(金) 第4回 講師:光琳寺住職 井上広法氏 ・1月21日(金) 第5回 講師:光琳寺住職 井上広法氏</p> <p>【事業の効果】 ・参加者:7名(全5回共通) ・起業や活動を始めようとする若者・学生を対象として、専門的な知識を有する起業の先輩を講師に迎え、「はじめての一步」を踏み出すために必要なスキルの向上を図ることができた。</p>	<p>(短期/事業規模:25,042円) 【構成員】 代表:山本朋果</p> <p>【事業名】 子どもの笑顔種まきプロジェクト</p> <p>【事業の概要】 ○困難を抱える子どもたちを対象とした夏祭りや秋・冬のイベントを開催し、参加する子どもたちが、よりたくさんの人とかかわる楽しさを感じることで交流の場を創出する。</p> <p>・7月23日(金):フードドライブ準備(子どもとなり佐野) 8月1日(日):フードドライブ準備(子どもとなり佐野) 9月4日(土):佐野高校旭城祭(佐野高校) 活動紹介とフードドライブ 12月19日(日):ふゆまつり(佐野市市民活動センター)</p> <p>【事業の効果】 ・参加者:23名(ふゆまつり) ・フードドライブやふゆまつりの活動をとらえて、困難を抱えた保護者やその子どもたちに対する支援を積極的に行い、経済支援と子どもたちの豊かな経験につなげる体験活動を企画し、対象家庭を支えることができた。</p>	<p>(中・長期/事業規模:100,306円) 【構成員】 代表:大鹿哲太</p> <p>【事業名】 未来(社会教育)を学ぶ、地域の学校 ～世代間交流の場を作る～</p> <p>【事業の概要】 ○地域の空き家を改修して青少年の居場所とし、活動拠点としながら季節に合わせたイベントの企画や地域住民を講師としたワークショップを開催することで、世代間交流の場を創出する。</p> <p>・7月21日(水):近隣挨拶 ・7月23日(金):草刈り、近隣挨拶 ・7月31日(土):草刈り、改修作業 ・8月1日(日):土地建物小両者への事業説明 ・9月19日(土):草刈り、外壁塗装、清掃・畳張替 ・10月24日(土):改修作業とワークショップ ・11月20日(土):ぶつぶつ交換会 近隣小学校でのちらし配布 ・12月26日(日):ぶつぶつ交換会</p> <p>【事業の効果】 ・空き家改修作業を行い、地域の課題解決を行う拠点作りを進めることができた。 ・改修作業に合わせて地域住民や関連企業、団体と連携したイベント等を企画し、地域を支える「つながりの輪」を広げることができた。</p>